

掘りだそう、自然の力。

**Calbee**

# カルビーグループ決算説明会

**2019年3月期第1四半期**

2018年4月1日～2018年6月30日






TSE code : 2229

**カルビー株式会社**

2018.7.27

## 決算サマリ

- ポテトチップスが好調に推移し、国内スナック全体で計画を上回った
- 前年同期比では増収効果により大幅増益、計画をほぼ達成

KPIs (重要業績評価指標)	通期目標	2019年3月期 第1四半期 計画	2019年3月期 第1四半期 実績	計画 進捗
増収率	+1.4%	+7.8%	<b>+8.3%</b>	
営業利益増益率	+10.0%	+74.0%	<b>+69.2%</b>	
営業利益率	11.6%	9.7%	<b>9.4%</b>	
海外売上比率	17.5%	16.0%	<b>15.2%</b>	
販売費比率	15.3%	15.9%	<b>15.3%</b>	

# 2019年3月期第1四半期業績 決算ハイライト

掘りだそう、自然の力。

**Calbee**

	2018年3月期 第1四半期		2019年3月期 第1四半期		伸び率 (%)	ペーカリー子会社 売却影響を 除いた伸び率 (%)	計画比 (%)
	(百万円)	構成比(%)	(百万円)	構成比 (%)			
<b>売上高</b>	56,519	100.0	61,231	100.0	+8.3	+15.2	100.5
国内売上高	48,923	86.6	51,938	84.8	+6.2	+14.0	101.5
海外売上高	7,595	13.4	9,292	15.2	+22.3	—	95.5
<b>売上総利益</b>	23,129	40.9	26,707	43.6	+15.5	—	98.4
<b>販売管理費</b>	19,715	34.9	20,933	34.2	+6.2	—	98.7
販売費	8,380	14.8	9,388	15.3	+12.0	—	97.1
物流費	4,168	7.4	4,124	6.7	△1.1	—	102.8
人件費	4,497	8.0	4,691	7.7	+4.3	—	99.0
その他	2,668	4.7	2,728	4.5	+2.3	—	98.1
<b>営業利益</b>	3,413	6.0	5,774	9.4	+69.2	—	97.2
<b>経常利益</b>	3,501	6.2	6,232	10.2	+78.0	—	102.3
特別損益	△38	-	114	-	—	—	—
<b>当期純利益</b>	2,287	4.0	4,213	6.9	+84.2	—	105.3

# 2019年3月期第1四半期業績 営業利益分析

掘りだそう、自然の力。

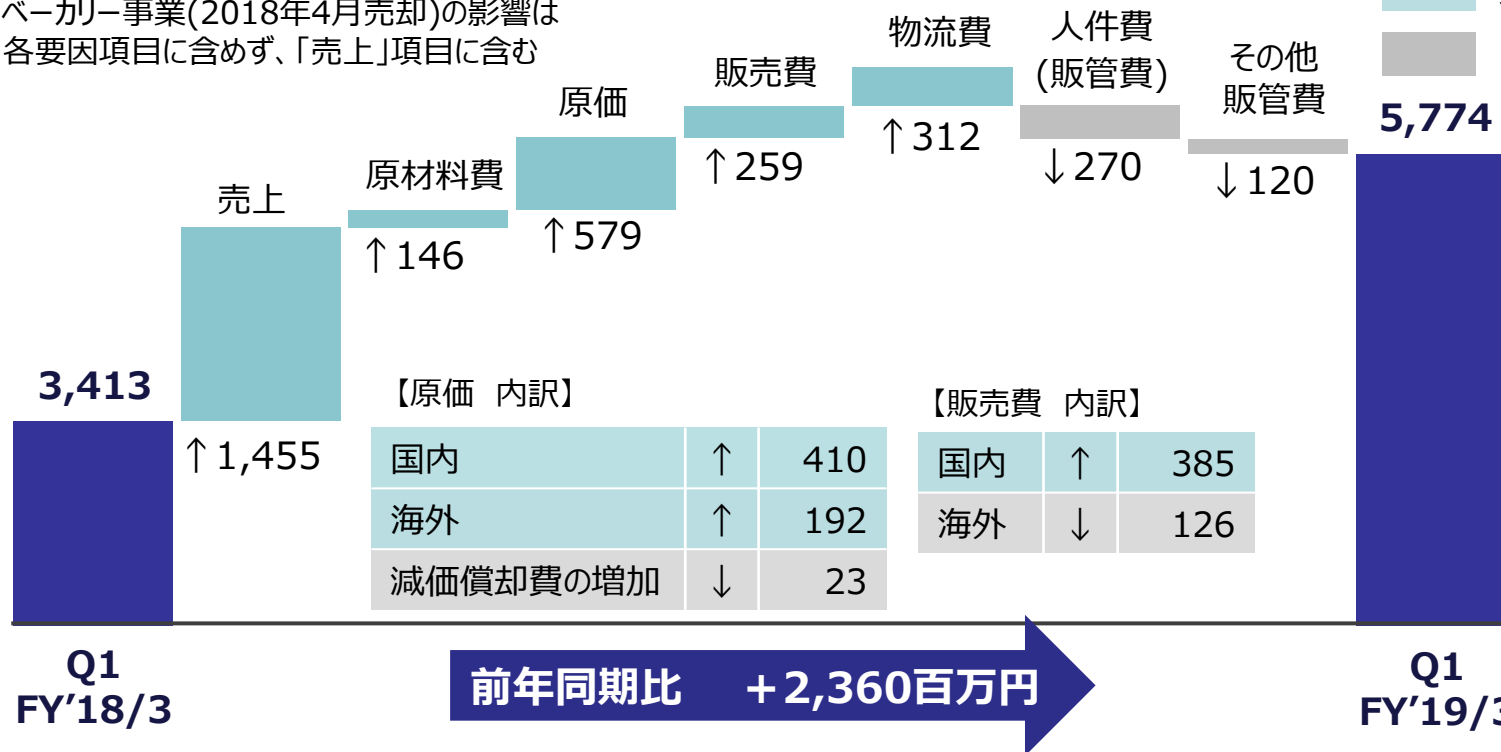


## 営業利益の増減（前年同期比）

\*ベーカリー事業(2018年4月売却)の影響は各要因項目に含めず、「売上」項目に含む

(百万円)

■ 増益  
■ 減益



- 原価 : (国内) ポテトチップスの稼働率上昇による改善  
(海外) 北米のコスト改善
- 販売費 : (国内) 増収効果により、販売費比率は改善  
(海外) 各社改善も海外売上構成増加による影響
- 物流費 : 前期の馬鈴しょ不足起因の一時的コストは解消され改善

## ポテトチップスは前期に休売したアイテムの復活と、強い需要が継続し大幅増収増益

(百万円)

	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	伸び率 (%)
<b>国内売上高</b>	<b>48,923</b>	<b>51,938</b>	+6.2
<b>スナック</b>	37,898	44,608	+17.7
ポテトチップス	11,788	20,635	+75.0
じゃがりこ	8,491	9,068	+6.8
上記以外のスナック	17,619	14,905	△15.4
<b>シリアル</b>	6,400	6,138	△4.1
<b>国内営業利益</b> (売上高比)	<b>3,504</b> (7.2%)	<b>5,790</b> (11.1%)	+65.2

### ■ スナック

- ・ ポテトチップスは、馬鈴しょ不足が影響した前年同期から大幅に回復、当期増量キャンペーンも寄与
- ・ 好調なポテトチップスの影響を受け、Jagabee、小麦系スナック、コーン系・豆系スナック等の需要が減少
- ・ 個食スナックは、全国販売開始の「とうもりこ」、「極じゃが」等が貢献（当期売上高14億円）

### ■ シリアル

- ・ フルグラは、新規顧客開拓に向けて期間限定品の投入や個食サイズの販売強化を図るが、需要の底上げには至らず減収

フルグラの中国輸出開始（前年第2四半期～）、インドネシアの販売拡大により増収  
北米は利益改善も、中華圏（台湾）の過剰在庫処分により利益悪化

(百万円)

	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	伸び率 (%)	為替影響を除く 実質伸び率(%)
海外売上高	7,595	9,292	+22.3	+23.7
スナック	7,595	8,272	+8.9	-
シリアル	-	1,020	-	-
海外営業利益	△91	△16	-	-

<地域別業績>

(百万円)

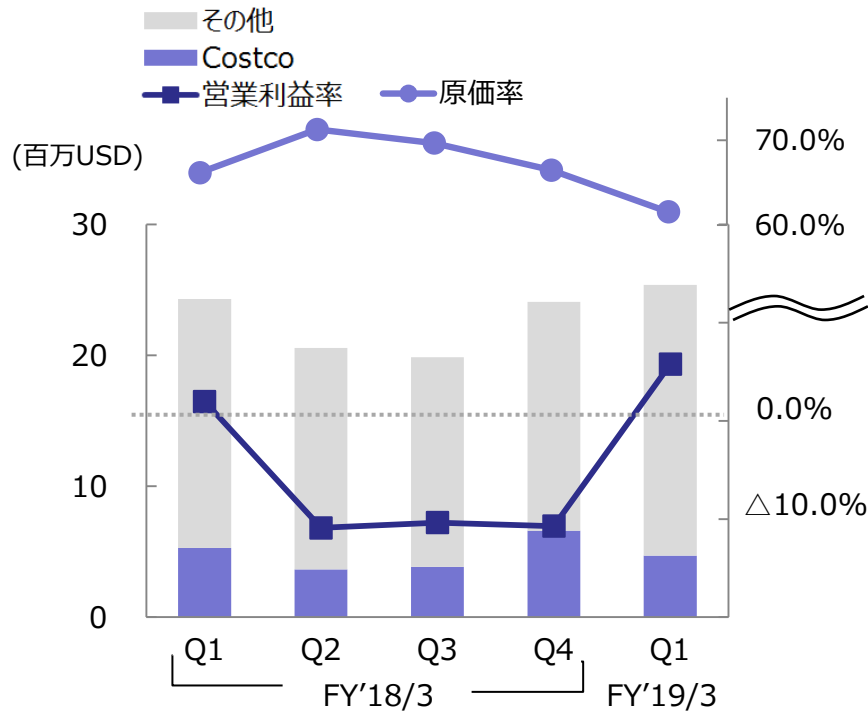
	売上高				営業利益	
	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	伸び率 (%)	実質伸び率 (%)	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期
北米	2,714	2,759	+1.7	+4.4	53	159
中華圏	1,338	2,574	+92.4	+93.8	94	△58
韓国	1,256	1,062	△15.4	△16.6	8	△14
その他アジア・豪州	1,951	2,494	+27.8	+29.9	△74	7
欧州	335	401	+19.7	+16.0	△174	△109

## 北米

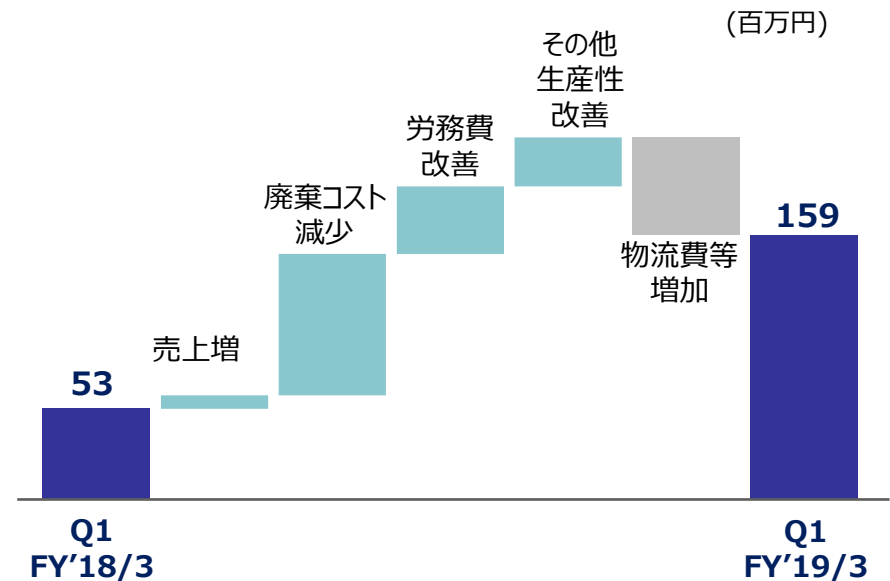
### ■ コスト改善が進み、黒字化を達成

- ・ “Shipper Program”等の販売促進活動の効果により、売上は回復基調
- ・ 前期の一時的な廃棄コストの減少、労務費の改善等により原価率が改善

北米事業 売上高・営業利益率・原価率



北米事業 営業利益分析



## 北米

### 継続的な売上の回復を目指す

- Harvest Snaps のブランド活性化と売上回復
  - ・ 新フレーバー2品（White Cheddar/Parmesan Roasted Garlic）発売開始
  - ・ 8月 オーガニック Harvest Snaps 発売予定
- Shipper Program等による店頭で目立つ陳列でのプロモーションを継続
- ユニークな新商品での売り場の多面化
  - ・ 9月 スナック菓子 Popper Duos 発売予定
  - ・ 新商品の開発サイクルを上げる

### コストをコントロールし黒字化を継続

- 生産に合わせた労務費のコントロール、最適なSCMに合わせた調達先の多角化等を推進
- 物流費の抑制のため、2工場の間でバランスの取れた生産を目指す



“Shipper Program”  
野菜売り場の横などに棚ごと商品を陳列



## 国内消費分は新規顧客を取り込めず減収、海外消費分は中国向けが着実に拡大

	(百万円)		
	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	伸び率 (%)
フルグラ売上高	6,398	7,158	+11.9
国内消費	6,398	5,912	△7.6
海外消費	-	1,245	-

### <海外消費チャネル別当期売上高>

(百万円)	
EC	968
小売店舗	277

### ■ 国内消費：

- シニア向けメディア活用による「健康」訴求、サイズ展開等新規顧客向けの施策を実施
- 国内需要の底上げには繋がらず、市場規模は伸長していない

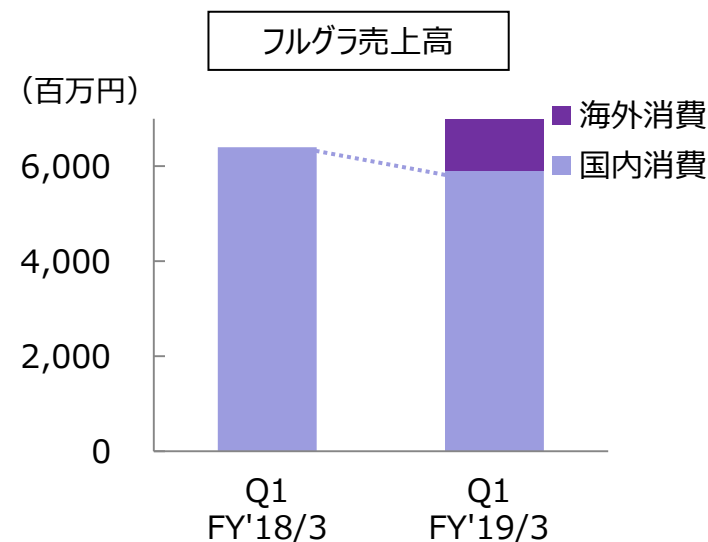
### ■ 海外消費：

<EC> 越境ECに加え、4月から一般ECにて販売を開始

<小売店舗>

華東・華南の都市部を中心に配荷を拡大

認知を広めるための試食、サンプリング等を積極的に実施



## 国内

- 「朝食革命」として今後もグラノーラの市場拡大を図る
  - ・ 健康寿命に貢献する「100年朝食プログラム」の始動
  - ・ 順天堂大学と共同で、3年計画でフルグラの効能のエビデンスを得るための臨床研究
- トライアルのための個食サイズ・Sサイズ展開を継続し、定番品の需要を喚起
- 他社共同キャンペーンによる乳製品売場での展開
- 「糖質オフ」商品のリニューアル等



100年朝食プログラム記者発表会にて

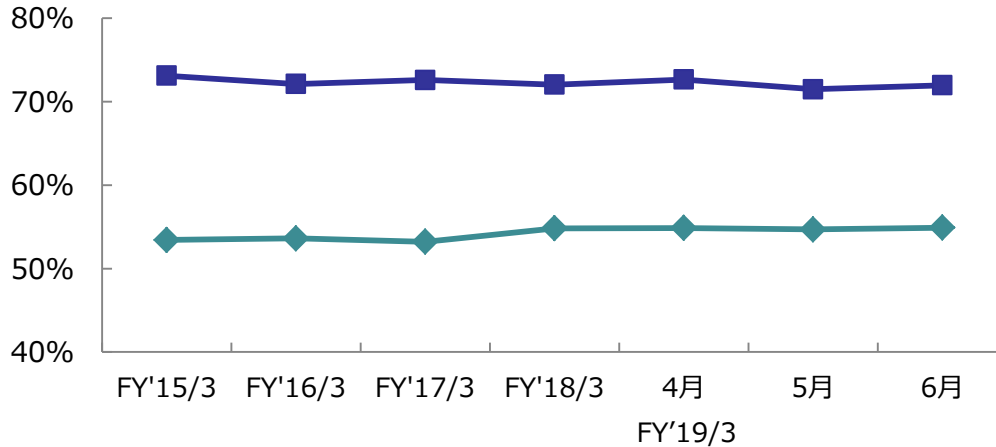
## 海外（中国）

- 京都工場の稼働開始：8月より稼働開始予定
  - ・ 販売チャネル別のサイズ展開やフレーバー品拡大により露出を増やし、ブランド認知度を高める
  - ・ 9月以降、京都の地域限定品の生産・販売を予定
- “食の安全”や“時短”ニーズを取り込む

## 参考資料

製品別売上高、海外国・地域別売上高の詳細等の数値は、  
「カルビー株式会社 2019年3月期第1四半期決算 補足資料」に掲載しておりますので、ご参照ください。  
<http://www.calbee.co.jp/ir/library/shiryoku.php>

## ■ 国内市場シェア\*

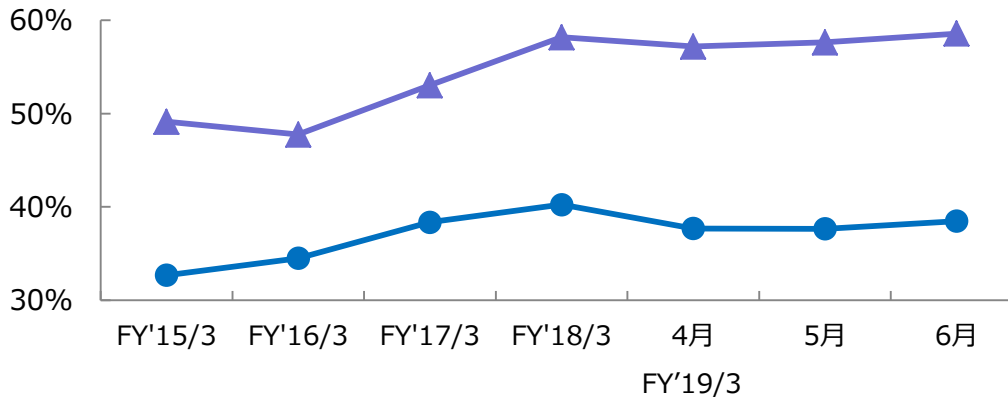


ポテトチップス市場シェア 当期累計 **72.0%**

前年同期比  
4.8P↑

スナック市場シェア 当期累計 **54.8%**

前年同期比  
6.6P↑



グラノーラ市場シェア 当期累計 **59.6%**

前年同期比  
2.7P↑

シリアル市場シェア 当期累計 **38.0%**

前年同期比  
2.9P↓

\* 出所：(株)インテージSRI 全国全業態 金額ベース  
 当期累計：2018年4月～2018年6月  
 前年同期：2017年4月～2017年6月  
 FY'15/3-FY'19/3：2014年4月～2019年3月  
 スナック市場シェア：カルビーとジャパンフリトレーの合計  
 ポテトチップス市場：ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・  
 ポテトシュースト・ケトル合算、非公開PB含む

本資料に関するお問い合わせ：

カルビー株式会社 IR部

E-mail：2229ir@calbee.co.jp

<https://www.calbee.com/ir/>

- グラフ上の事業年度表記はFY(Fiscal Year)を用いています。FY2019/3(FY'19/3)は2019年3月期を指しており、他の事業年度も同様に表記しております。特にその指定がない表記は、暦年を表しています。
- 本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。